

9月 キャリアナビゲーター通信 Vol.5


キャリア教育プログラム(課題解決編)が始まりました！

9月より、総合的な学習の時間にて「キャリア教育プログラム(課題解決編)」がスタートしました。このプログラムは、「みんなのアイデアで、身の回りの課題・社会課題の解決に挑戦」することを目標にしています。

そこで、今月は、世の中の「様々な立場の人」や、「様々な立場の人が抱える課題を解決する仕事・支援をしている人」の講話や講話に向けた事前学習を行いました。

オリエンテーションの内容


<キャリア教育プログラムの目的について>

<p>「仕事」は、 「選ぶ」時代から 「つくる」時代に。</p> 	<p>そもそも仕事とは・・・</p> <p>「できない(困った)」を解決</p> <p>対価としてお金をもらう</p>	<p>身の回り・社会の 「できない(困った)」を解決</p> <p>仕事の本質を学ぶ</p>
--	--	---


<9月の実施内容：「様々な立場の人」や「様々な立場の人が抱える課題を解決する仕事・支援をしている人」の講話>

1. 様々な人の立場を知る

高齢者の方 障がいのある方



外国出身の方 性的マイノリティ当事者の方



1. 様々な人の立場を知る

高齢者の方 障がいのある方


9月14日(木) 当事者の方の講話

どんな日常を過ごしている？

どんなことに困りごとを感じている？

2. 様々な人たちの抱える課題を解決している人の話を聞く。

「困りごと」を解消するための商品やサービスをつくったり、支援する活動をしている人たち



2. 様々な人たちの抱える課題を解決している人の話を聞く。

高齢者の課題解決 障がいのある方の課題解決

9月29日(金) 講話

どんな課題を解決している？


どうやって解決している？

<11月以降の実施内容：身の回りや社会の課題を解決するアイデアをプレゼンする>

3. 身の回りや社会の課題を解決するアイデアをプレゼンする

困りごと こうなったらいいな

新しい商品・サービスを考える



9月の講話で様々な立場の人の困りごとを聞き、社会問題について学んだことを生かして、11月以降は、課題を解決するアイデアを考え、プレゼンします。東京の企業や、行政機関、大学生の方々にも協力いただきながら進めていく予定です。

講話① 様々な立場の人のお話を聞く

9月14日(木)に、様々な立場の人として、「①高齢者」「②障がいのある方」「③外国出身の方」「④性的マイノリティ当事者の方」を講師としてお招きし、「普段どのような生活をしているか」「日常の中にどんな困りごとがあるか」などについて教えていただきました。

<事前学習の様子：それぞれの方たちにもつわる基本情報を調べて、質問したいことを考えました>



<講話当日の様子：7教室に分かれ、それぞれの立場の方のお話を聞きました>

① 高齢者の方



若いときとの身体の変化や、それに伴う困りごと(お財布からお金がとりづらいなど)を教えてくださいました。また、人生の中で大事にしてきた考えや格言についても語っていただきました。

障がいのある方 (車いす、視覚障がい)



それぞれの方の障がいの特徴や、身の回りの設備や施設で困ること(点字のないエレベーターなど)について教えてくださいました。

目隠した状態でお札や硬貨を見分ける体験もしました。

外国出身 (フランス人、スリランカ人) の方



フランスやスリランカの特徴について話を聞き、民族衣装を見せていただきました。

また、日常の中では、病院にいったときや、子供が学校からもらってきたおたよりが読めなくて困ることなどを教えてくださいました。

性的マイノリティ当事者の方



人それぞれセクシャリティはちがいで、そのちがいをお互いに大切にしたいと教えていただきました。

キャラナビのつがやき



中学校では、同じ地域の同じくらいの年齢の集団で活動しています。

社会にでると、異なる世代、異なる立場、異なる考え方の人たちとたくさん関わることになります。

お互いの違いを尊重し、理解しようとする姿勢は、大人になっていくうえでとても大切です。